

偏見をなくすためにできること

守山南中学校一年 寄田 花果

私はスーパーに行ったとき自分の好きなウナギを見つけました。

近寄ってみてみると一つの商品だけが他のウナギよりも多く残っているのが気になりました。手にとり原産国を見て見ると中国産でした。私は中国のウナギはあまりおいしくなく、安全性もよくないと聞いたことがあります、そのせいかと思い父に聞いてみることにしました。父は「中国産は日本産よりおいしくなく安全面も不安だからあまり買わない。」と言いました。私は中国産のウナギはなぜ評判があまり良くないのか、中国産のウナギはまずくて安全ではないのか調べてみました。調べてみると中国産ウナギは過去に水質問題や薬漬け疑惑、産地偽装事件などからイメージが悪いこともあるが、現在日本で流通するものは、日本の厳しい検査を通過しており、品質が大幅に向上していることが分かりました。私は過去の問題でイメージが悪くなってしまい現在もそのイメージが残ってしまい、私達の考えが変わってしまうんだと驚きました。私はこの経験を通してこのような「偏見」がなくなればいいなと思いました。中国でウナギを育てた人は過去の他の人の過ちのせいで自分が一生懸命育ててつくった商品を買われなかったり、口コミなどで悪口を書かれたりするのとは良くないし、中国全体も過去の過ちから安全面に気をつけ

て改善していこうと努力しているのに偏見のせいで間違った考え方をされて悲しい思いをするのは良くないと思います。他にも世界にはたくさんの偏見があります。太っている人は自己管理ができていない、痩せている人は虚弱体質などの見た目による偏見。高齢者は体力がない、若者は経験がたりないなどの年齢による偏見。異なる文化を持っている人に対して間違った解釈をすることや、ある人種は〇〇が得意で〇〇が苦手などといった民族、人種に関する偏見。そして障がいを持つ人に対して、何もできないと決めつけたり、全ての障がい者が特別な配慮を必要だと考える偏見。など他にも世界にはたくさんの偏見があります。私は自分自身これまでたくさんの誤った思い込みをしていました。私と同じようにたくさんの人が誤った思い込みをしていたし、今も誤った思い込みをしている人がいると思います。私はこのような偏見をなくすには一人一人が積極的にさまざまな情報にふれて、異なる背景を持つ人たちと交流したり、調べた情報が正しいのかどうか、別の見方はないのかを考える習慣をつけることが大切だと思います。